

3月21日(火)の議題

- ☑●●さんよりひとこと
- ☑収支報告／活動費助成の報告
- ☑アイスブレイク（フリートーク）
- ☑若者会議（全体会議）について

●●さんより一言

お世話になった●●さんから一言を予定していましたが、諸事情によりなしとなりました……^^;

収支報告／活動費助成の報告

つばめ若者会議のメンバー会費の収支内訳と活動費助成チームが行った事業の収支報告を行いました。

【活動費助成】

チーム名：チームワンダー 

開催概要：平成28年10月6日(木)
燕市民交流センター

事業名称：「伝える」「伝わる」を深めるお話会

活動内容：講演会やワークショップなど、全国で展開している富田貴史さんをお招きして、伝える事を考え、イベントや活動等で実践するための場づくりを行いました。

若者会議（全体会議）について

つばめ若者会議、全体会議をテーマに雑談形式でメンバー同士で話し合い、思いや方向性を共有しました。

【意見やアイデアなど】

- 若者会議の今後の方向性をどうしていくのか。
 - ・現在の活動やまちづくりについて、深くしていくのか。
 - ・人が集まれる場（浅く広く）にするのか。⇒若者会議の当初の目的として、まちづくりの担い手の人材育成、若者同士のつながりの強化があった。
- もう1度知り合いを呼んで、若い人が集まる会議
⇒40歳以下であればどんな人でも参加できる。共通ミッションがあると盛り上がる。
※ただやるだけでは、今までの繰り返し。しっかりとしたビジョンが描かれていればいいと思う。
- 若者会議に入っていたから、つながりができ、プライベートの方でも活動を生むことができた。
- 来年度チーム数が激減しそう。
⇒ガイドラインのチームの定義は廃止すればいいのでは。
チーム（テーマ）ごとにルールを定めればいいと思う。
年会費やメンバーの位置付け等の最低限の内容は、ガイドラインとして残していく。
- 年会費はどうする？
⇒活動費の助成制度は残しつつ、WEBの更新費（イベントページ作成など）にまわしていきたい。
- 新たな仕組みを作る。
⇒この指とまれ方式
…現在のチーム活動は継続しつつ、メンバーひとりひとりが実施をしたい事業等を提案して、共感をしたメンバーやメンバーが紹介した市民と共に活動を繰り返していく。（事務局が叩き台を作る。）
- 全体会議は、つながり強化を目的としたWSや活動スキルを学ぶ機会にしたい。
- 全体会議を含めリーダーシップが無いと参加しづらい部分がある。
⇒全体会議や新たな仕組みの調整はしばらくは事務局が行う。
- サポート部（卒業生グループ）とかあれば、つながりを持ち続けられる。

